

森づくり通信

No.78



2025年(令和7年) 12月 18日(木)発行

発行／金沢森づくりサポートバンク事務局

920-1301 金沢市永安町77番地(金沢市林業振興協議会内)

TEL:076-229-1699 FAX:076-229-1172



今年の紅葉は近年でもキレイだと言われ紅葉狩りを楽しんだ皆さんも多いのではないか？地球温暖化で二季のせいかな。

シーズンオフに入り活動も一段落という皆さんも多いと思いますが、私ども金沢森づくりサポートバンクに登録し活躍されている会員の皆様も、84団体7255名、個人会員の方62名で総計7317名の皆さんが、金沢の森づくり活動に参加されそれぞれのフィールドが整備されていることを心強く思います。

私どももこれから出前講座等控えておりますが、今年1年お世話になりました。来年も宜しくお願ひいたします。

●年末年始のお知らせ●

金沢森づくりサポートバンク事務局の業務は、年末は**12月26日(金)**まで、年始は**1月5日(月)**からとなります。

お問い合わせやご連絡の際は、よろしくお願ひ致します。

9月11日(木)四十万小出前講座



小学校からの依頼で森の出前講座を行いました。

対象は3年生57名で、最初に森が私たちにとってなくてはならない事をしてくれていることの話や竹についての話も行いました。

次に、玄関フロアに移動し地元で事前に収穫しておいた竹で、竹のコップや器などを作りました。

ノコギリを使った事がある児童も少なく、ノコギリの使い方や竹の切り方を実演説明してから竹を切ってもらいました。



11月6・7日(木・金)朝霧台小出前講座



朝霧台小学校 5年生 90名を対象に、11月6日(木)は学校教室において森についての授業を行い、翌7日は北陽台にある金沢テクノパークの森にバスで集合し、2班に別れて交互に森の体験を行いました。

最初に A班はスギの伐倒見学を行い、伐ったスギを 4メートルに玉切りにした丸太をロープで道沿いまで引っ張り上げる体験を行いました。

B班は植栽場所でクヌギの苗を 10本植えて、シイタケのホダ場など森の見学を行いました。

森づくり活動 実施報告

元気な森林を守り育てるため、森づくり活動を行っています。

森林は、私たちの暮らしを守り、様々な恵みを与えてくれます。しかし、手入れ不足や放置されることで森林は荒廃が進み、その働きが充分発揮できず森の恵みや生物の多様性も損なわれます。大切な森林を守り育てるため、一般市民、企業、地元、NPO法人等の協力を得て森づくり活動を行っています。

<問い合わせ先>金沢森づくりサポートバンク事務局 または 金沢市森林再生課 TEL:076-220-2217

9月13日（土）ダンロップの森づくり

キゴ山にあるダンロップの森に社員、家族 30 名が集合し森づくり活動を行いました。

作業場所は4班に別れ、カラマツの苗を植えた所の支柱の打ち直しや紐掛け、草刈り班、既存のカラマツ林の下草刈り班、平地で面積の大きい所の刈払機での草刈り班、折損木や枝払い、クズ切り班で作業を進めました。

最後にきれいになったフィールドをバックに記念撮影を行い解散しました。



10月11日（土）きんしんの森づくり

きんしん職員と家族、地元市民64名が東原きんしんの森に集合し森づくり活動を行いました。

森に入る道の側溝泥揚げ、水切り丸太のやり直し、前回から始めた道に設置する木道の仕掛けづくりなど道の整備も行き届いて来ました。

峰が城址に登る道も階段が崩落しており現地の木を伐って作り上げました。

恒例の地元女性陣によるきのこ入のめった汁を振る舞っていただき、作業後に美味しいいただきました。



9月27日（土）テクノの森づくり

金沢テクノパークに立地している企業従業員・家族を中心地元町会の皆さん72名が参加し森づくり活動を行いました。

草刈り中心の作業でしたが、たけのこ畠の整備で竹の伐採・集積、以前小学生が伐倒見学で倒した丸太を使ってのベンチ作り、森への侵入竹の伐採集積、地元の方々の刈払機での草刈り作業、ノコギリガマでの広場や周回路の草刈りなど親子連れのチームで行っていただきました。



10月19日（日）金沢農業まつり

JA 金沢市ほがらか本店において金沢農業まつりが開催される1コーナーで、シイタケ、ギンナン、クロモジ茶などの野草茶の試食品を提供し、特用林産物のPR活動を行いました。

シイタケ、ギンナンは炭火で焼いて試食、山椒入りのサラミも準備し、お茶関連はクロモジ、スギナ、セイタカアワダチソウの材料を準備し試飲してもらいました。クロモジの精油を抽出する機械も準備し、香りや健康への効果などもPRしました。



森づくり出前講座 実施報告



森づくり活動や森林の講座などに「森づくり専門員」を派遣しています。

森林の役割や森づくりの進め方などについて、森づくり専門員が説明するとともに、森の中での体験学習などを行っています。

例えば小学校の総合学習の時間に森林環境教育や森林の公益的機能についての説明を行う、または森づくり活動の際に現地に出向いて技術指導をするなど、様々なテーマでの出前講座を実施しています。

森づくり出前講座の問合せ・申込みは 金沢市 森林再生課 TEL:076-220-2217 までお願いします

10月20日（月）県森林実感ツアー出前講座

県央農林総合事務所から「いしかわ森林環境実感ツアー」を実施するにあたり、森林での森の働きや木を育てる仕事などについての講師を依頼され、中央小学校芳斎分校4・5年生26名を対象に森の出前講座を行いました。

60分の時間内で森のはたらきについて少し時間を取り、伐倒見学と森の雰囲気を感じてもらうことに重点を置き林内の体験をしてもらいました。11月に木工作の出前講座があるので事前学習になったかな？



11月8日（土）コマツの森づくり

コマツ金沢工場社員、粟崎町会、パークゴルフ会員、金沢市海岸砂防協会会員の皆さん86名が粟崎やすらぎの林に集合し森づくり活動を行いました。

参加人数も多く4箇所に別れて作業を行い、以前抵抗性クロマツを植栽した場所3箇所は刈払機とノコギリガマでの草刈りを分けて進めてもらいました。もう1箇所は将来クロマツの植栽を考えているヤブの整備を行い、枯れたニセアカシアの木をチェンソーで伐倒し玉切りにして集積する作業も行いました。



11月11日（火）医王山小学校出前講座

医王山小学校5年生は令和4年より植えて、育てて、伐って使う森の循環と森林が持つ公益機能について学んでもらう出前講座を行っています。

今年は7名の児童を対象に教室で森の働きなどを学んでもらい、場所を移動し玄関先で竹を切ってどんぐりを埋める竹ポットを作り、どんぐりを埋め校庭の片隅で育てることにしました。

その後、先輩たちがどんぐりから育てた苗木を、校庭の一角に2本移植しました。



11月18・19日（火・水）中央小芳斎分校出前講座

中央小学校芳斎分校では子どもたちに木に触れたり、ノコギリや金づちなどを使った木工体験をさせたいとの要望が有り、森の出前講座を行いました。

18日は1～3年生28名に森の話を少し行ったあと、ノコギリでコースター状にスギの円柱材を切りネームプレートを作ってもらいました。

19日は4～6年生21名に森の話と事前に釘穴を開けたミニプランターを金づちを使って組み立てもらいました。



金沢森づくりサポートバンクのホームページをご覧ください！

「金沢森づくりサポートバンク」と検索してみて下さい。
会員、団体様の森づくり活動の様子や当協会が運営する森づくりイベントの募集などを掲載し、道具の貸し出し申請書や会員登録用紙のダウンロードなどもできるサイトとなっています。

サイト内には年4回発行の森づくり通信の最新号が載せてあり、皆さんの直近の活動写真や森づくりの活動内容が分かるようになっていますのでぜひご覧になってください。



伐木等業務(チェーンソー)特別教育について

チェーンソーを安全に正しく使うための講習会が実施されます。

森づくり活動を行う団体会員の中で何人かは講習を受けておくと、より高度な作業を行えるようになるのでお勧めです。

登録会員の方には受講に対しての支援を行っていますので、希望される方はこの機会に受講して下さい。

会場は石川森林文化ホール(金沢市東蚊爪1-23-1)です。

● 伐木等業務(チェーンソー)特別教育

● 【日時】令和8年1月21日(水)～23日(金)

※お問い合わせ・お申し込みは、**1月8日(木)**までに金沢森づくりサポートバンク事務局までお願いします。

※必ず**金沢森づくりサポートバンク**にお申込み下さい。(直接申し込みは補助対象になりません)

編集雑記

「森づくり雑感」

森林の恩恵は今更言うに及ばずですが、森を利用しながら森を育て環境を整える作業はとても大切で難しいことです。

私たちが5年、10年と関わった所はそれなりに良い感じになってきたなーと思える森になり、利用の方も竹やぶを整備してやぶに戻らないように管理し、竹の間伐はもちろん陰になる大木を伐採し薪に利用し、タケノコの採れるタケノコ畠にしたり、植樹も花や紅葉がきれいな木を植え将来花木園になるようにとハナミズキや山桜、ヤマモミジなどを植栽したり、森の循環や野生動物のことも念頭にクヌギやコナラを植栽する所もあります。

また、海岸では松枯れ病の被害で軒並み枯れてきた松林の再生を目指して、松枯れ病に強い抵抗性クロマツの苗を地元や諸団体の協力を得て植えています。植えてから10年以上経った所では間伐や枝払いの作業ができ、保育作業にも幅が出てきた所もあります。

どの活動にしても成果は何十年後になり、現代の即効性を求める風潮には合わない活動ですが、少しずつでも行った事への保育は継続して行わなければ元の木阿弥になります。緑が豊かで自然環境に恵まれた日本は、自然が大好きだと言っている割には環境への関心はイマイチなのかもしれません。

金沢市森づくり専門員 加藤 八郎

